

【中学生議会 市長答弁様式1】環境グループ1 / 3

|           |         |        |                   |
|-----------|---------|--------|-------------------|
| 質問区分      | 環境      | 議員名    | みやざわみなぎ<br>宮澤美風議員 |
| 発言順(通し番号) | NO : 16 | 所管課・室名 | 環境課               |

|                    |  |
|--------------------|--|
| 質問事項               | 太陽光パネルの推進について  |
| 具体的な内容<br>(質問取り事項) | 太陽光パネルの利点についての情報をPRする。<br>(太陽光パネルの設置前と後の電気代の変化)<br>データや動画を利用したPR |

【市長答弁】

みやざわ

宮澤議員の質問にお答えします。

近年、太陽光パネルを使った太陽光発電をはじめとする自然エネルギー設備の導入は、自然エネルギー利用に伴う環境負荷の削減を通じた環境対策として、重要な手法の一つとなっています。

宮澤議員からご提案でありました、太陽光パネルの利点について詳しい情報を使つての、市民の興味を引き付けるようなPRにつつまして、太陽光パネル、ひいては自然エネルギーを活用することの環境面、経済面、災害面での利点・実情を広くPRすることは大変大事なことで、今後も一層市民の皆さまに周知して参りたいと考えております。

また市の取組みにつつましては、各家庭での自然エネルギーの活用を推進するため、住宅の太陽光発電システム及び太陽熱高度利用システムの設備に対して、補助金を交付しております。今後も温室効果ガス削減に向けた地球温暖化対策の効果的な取組みを行い、また情報発信をして参りたいと思ひます。

そして、宮澤議員のような次世代を担う皆さんが環境問題の重要性を認識していただき、将来に向かってよりよい環境をつくる努力をしていただくことは、市全体、ひいては地球全体の環境をよりよくしていくことにつながります。

今後も皆さんと一緒になつて、自然エネルギー活用の推進など地球温暖化対策を考え、取組みを行つて参ります。

【中学生議会 市長答弁様式1】環境グループ2 / 3

|           |         |        |             |
|-----------|---------|--------|-------------|
| 質問区分      | 環境      | 議員名    | だいご 醍醐 葵 議員 |
| 発言順(通し番号) | NO : 17 | 所管課・室名 | 廃棄物対策課      |

|                    |   |
|--------------------|---|
| 質問事項               | 廃棄物・資源物の分別について  |
| 具体的な内容<br>(質問取り事項) | ○廃棄物・資源物の分別について<br>・ゴミ箱に貼れる分別表の作成<br>・店頭回収以外の資源物回収場所の周知<br>・ごみカレンダー分別表の改良 |

【市長答弁】

続きまして、<sup>だいご</sup>醍醐議員の質問にお答えします。

家庭の廃棄物・資源物の分別についてのご質問ですが、廃棄物の減量と資源化の推進については、本市でも重要な課題の一つとなっております。

本市の家庭から排出されるもえるごみは穂高クリーンセンターで焼却を行っており、平成27年度は1年間で約13,300トンのごみを焼却しました。処理量については、5年前の平成23年頃からほぼ横ばい状態であります。

また、資源物については、市内大型店舗を中心として、古紙やペットボトル、容器包装トレイなどの店頭回収サービスを行う店舗が増えていることから、地域の資源ステーションやリサイクルセンターでの収集量は年々減少しております。

本年3月、全国の市町村の家庭などから排出される廃棄物を調査した結果、長野県の1人1日あたりのごみ排出量が838グラムとなり、「ごみの少なさランキング」で初めて日本一となりました。安曇野市においては、長野県の排出量を下回る794グラムとなっておりますが、市内の各家庭から排出されるもえるごみの中には資源物としてリサイクルが可能な物が多く含まれております。

市といたしましても、分別方法を記した「ごみカレンダー」や「出し方の手引き」をもっとわかりやすく、見やすくなるよう改良を重ね、市民の皆さまの分別意識の高揚を図り、ごみの減量、資源化の推進に努めてまいります。

また現在、もえるごみを焼却しております穂高クリーンセンターが平成6年9月の稼働開始から20年以上が経過し、施設などの老朽化も進んでいることから、新ごみ焼却施設の建設を計画しております。

計画されている新焼却施設には、焼却による余熱を利用して発電を行い電気として利用することができる「熱回収施設（エネルギー回収施設）」を併設する計画となっており、自然に恵まれた安曇野市の環境に配慮した施設となるよう計画を進めております。

醍醐議員におかれましても生徒会の一員として、また、安曇野市の一員として環境活動に取り組み安曇野の自然環境の保護にも繋がるごみの減量、資源化の推進に更なるご協力をいただきたいと思います。

|           |         |      |                    |
|-----------|---------|------|--------------------|
| 質問区分      | 環境      | 議員名  | あらい 荒井<br>あおい 葵 議員 |
| 発言順(通し番号) | NO : 18 | 所管課名 | 上水道課               |

|                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| 質問事項               | 安曇野の水の安全性のPRについて   |
| 具体的な内容<br>(質問取り事項) | イベントを行い、PRの改善をはかる。 |

### 【市長答弁】

最後に、<sup>あらい</sup>荒井議員の質問にお答えします。

安曇野の水の安全性のPRについて、お答えいたします。

安曇野市の水道水は、北アルプスをはじめ、ここ安曇野の豊かな自然に育まれた地下水を、深さ100メートルを超える深井戸から汲み上げた大変おいしい水でございます。

この安曇野の地下水・湧水は、「安曇野わさび田湧水群」として国（環境省）が指定した名水百選にも選定されているなど、全国的にも「優れた水」として認識されているところです。

市では、水環境の保全、強化、活用を図るため、現在「水環境基本計画」の策定を進めています。計画の策定にあたっては、地域大学等との連携の下、普段は見ることのできない「地下水の見える化」の研究にも取り組みました。これら研究の成果も踏まえながら、地域の財産である水資源を、今後も市民の皆さんの飲料水として、また市の産業の振興・発展のために活用していけるよう取組を進めていきたいと考えています。

市の水道水源は、昨年より地下水100%となりました。

以前は、一部の地域において河川から取水した水をろ過し、塩素で消毒したのち水道水として供給していましたが、安定性

に若干難があったことから、水源を地下水に転換する工事を4年間にわたって行い、現在は市内すべての地域において、地下水を汲み上げて水を供給しています。

水道水の安全性については、法律で守るべき水質の基準が定められており、安曇野市でも定期的に検査を行い、市の水道の水質が常にこの基準内であることを確認しています。

また一部の検査項目については、検査回数を規定よりも増やして検査を行うなど、水の安全性について最大限の注意を払っています。この検査結果も市のホームページに掲載しておりますが、内容が専門的でもあり、多少分かりにくいところがあったかもしれません。

荒井議員からご提案のあった、水の安全性の PR として水にかかわるイベントを行うこと、とりわけ「安曇野の水が一番身近にある市民にも、安曇野の水について知ってもらおう」ことは大変重要であると考えます。

市では、昨年8月、「全国名水サミット in 安曇野」を開催し、県内外からお越しいただいた方々や市民の皆様に対して、市の地下水保全の取組や安曇野の地下水の魅力を発信したところがございます。

(また、このサミットでは、豊科北中学校の科学部の皆さんから、市内の河川や湧水の水質検査についての発表もいただきました。)

今後も、地域の貴重な財産である安曇野の水の魅力や安全性などについて、市民の皆様をはじめとして多くの方々に PR する取組を行ってまいりたい、と考えております。

【中学生議会 部長答弁様式2】環境グループ1 / 3

|           |         |        |                     |
|-----------|---------|--------|---------------------|
| 質問区分      | 環境      | 議員名    | みやざわ みなぎ<br>宮澤 美凧議員 |
| 発言順(通し番号) | NO : 16 | 所管課・室名 | 市民生活部               |

|                    |  |
|--------------------|--|
| 質問事項               | 太陽光パネルの推進について  |
| 具体的な内容<br>(質問取り事項) | 太陽光パネルの利点についての情報をPRする。<br>(太陽光パネルの設置前と後の電気代の変化)<br>データや動画を利用したPR |

【市民生活部長答弁】

みやざわ  
宮澤議員の質問にお答えします。

太陽光パネルの利点についての情報をPR (太陽光パネルの設置前と後の電気代の変化)

先ほど市長から答弁いたしました、市の取組みの、住宅の太陽光発電システム及び太陽熱高度利用システムの設備の補助金につきましては、市のホームページに掲載し、毎年4月に広報に掲載しております。また今年初めて10月に市民タイムスの2面を使い、「地球温暖化。わたしたちにできること」と題して、「地球温暖化のいま」「今日からはじめよう家庭の省エネ」「市の取組みの紹介」を掲載いたしました。

宮澤議員の提案であります、利点についてのPRにつきましては、環境面であります、二酸化炭素の排出の削減による地球温暖化対策、経済面において、市の補助金についての情報、また災害面においては、東日本大震災の時、電気が復旧しない中、太陽光発電を設置していたところで、電気を近隣の方々の携帯電話の充電に使ってもらった例もあり、災害が発生しても電気が使えることなど、今後も環境面・経済面・災害面につきまして広くPRしていきたいと考えています。

ただ、太陽光パネルの設置前と後の電気代の変化を広く市民に発信していくことにつきましては、確かに電気代は節約できますが、太陽光パネルの設備はまだまだ高く価格はメーカーにより違いがあり、設置後の電気料の削減金額との比較は困難であって、行政がこのことをPRすることは難しいと思います。

## 動画をつくり、家電量販店などの人の集まる場所でのPR

人の集まる場所でのPRは大事なことで、また文字でのPRだけでなく、宮澤議員提案の動画でのPRは非常に効果的に思います。市では毎年環境フェアを開催しており、その際に流すことも今後検討して参りたいと思います。

[参考資料]

### \* 太陽光発電システム設置補助金実績

H25 333件

H26 273件（前年比：-60件）

H27 207件（前年比：-66件）

【中学生議会 部長答弁様式1】環境グループ2 / 3

|           |         |        |                        |
|-----------|---------|--------|------------------------|
| 質問区分      | 環境      | 議員名    | だいが<br>醍醐  あおい<br>葵 議員 |
| 発言順(通し番号) | NO : 17 | 所管課・室名 | 廃棄物対策課                 |

|                    |   |
|--------------------|---|
| 質問事項               | 廃棄物・資源物の分別について  |
| 具体的な内容<br>(質問取り事項) | ○廃棄物・資源物の分別について<br>・ゴミ箱に貼れる分別表の作成<br>・店頭回収以外の資源物回収場所の周知<br>・ごみカレンダー分別表の改良 |

【市民生活部長答弁】

続きまして、<sup>だいが</sup>醍醐議員の質問にお答えします。

家庭の廃棄物・資源物の分別については、排出する市民の皆さまのごみ減量と分別意識の向上を図ることが必要となります。

市では、毎年「家庭ごみ・資源物収集カレンダー」を作成し、各戸に配布しております。また、更に詳しく分別の方法を記した「資源物・ごみ出し方の手引き」については、3年に一度見直しを行い、こちらも各戸に配布し、意識の向上を図っておりますが、カレンダーなど限られたスペースの中ではイラストや文字の大きさなどにも制限があり分別の情報を記載するには十分では無いのも現状であります。

醍醐議員さんからご提案いただきました「ごみ箱に貼れる分別表の作成」は、市といたしましても、ごみの減量、廃棄物・資源物の分別の意識を高めるうえで有効な手段だと考えます。

市民の皆さんがごみ箱に捨てる際に、ごみ箱に貼られた分別表を見て、捨てるごみが廃棄物なのか、資源物なのかということを改めて確認することが減量化・資源化の第一歩であると思います。

今後、市としてはご提案いただいた「ごみ箱に貼れる分別表」をどう表現し、どう活用できるのかということの研究していきたいと思っております。



続いて、「スーパーなどで出せなかった資源物の処理場所をポスターで示せるように」というご提案については、現在、市内大型店舗を中心として、古紙やペットボトル、容器包装トレイなどの店頭回収サービスを行う店舗が増えております。これは、回収した資源物の量により、ポイントに還元して買い物に活用できることや地域の資源ステーションでの収集日程に捉われず、日々の買い物のついでに資源物を出せる便利さなどから、今後、このような民間ベースでの資源ステーションが普及してくるものと考えられます。

市としては、市民の皆さまとの連携の中で地域に設置され身近に利用できる資源ステーションの整備、拡充及び支援を図ってまいります。

併せて、広報誌やごみカレンダーなどを活用して、資源ステーションの利用促進を図っていきたいと考えております。

また、多様化するライフスタイルへの対応を目指して、市内3カ所で資源物を回収することができるリサイクルセンターの開場日及び収集品目の拡大、拡充を行い、利便性の向上と合わせた事業の推進を図ってまいります。

今後も引き続き、循環型社会の形成推進とごみ減量化対策に取り組んでまいります。

【中学生議会 部長答弁様式2】環境グループ3 / 3

|           |         |      |                    |
|-----------|---------|------|--------------------|
| 質問区分      | 環境      | 議員名  | あらい 荒井<br>あおい 葵 議員 |
| 発言順(通し番号) | NO : 18 | 所管課名 | 上水道課               |

|                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| 質問事項               | 安曇野の水の安全性のPRについて   |
| 具体的な内容<br>(質問取り事項) | イベントを行い、PRの改善をはかる。 |

【上下水道部長答弁】

あらい  
荒井議員のご質問にお答えします。

それでは私から、水の安全性のPRに関する具体的な取組について、お答えいたします。

まず、荒井議員のご質問にありました、安曇野の水で作成した「ペットボトル」ですが、これは市制施行10周年と、市の水道水源が100%地下水になったことを機に、主として県外や市外の方々に対しては、安曇野の水の魅力をPRするため各種イベント等で配布しているほか、市内にお住まいの皆様に対しては、事故や災害等で一時的に給水がストップしてしまった場合に、復旧するまでの間お使いいただくことを想定して、作成しているものです。

市では、これまでも市内小学校の社会見学で、水道の仕組みや、配水池やポンプといった水道施設について説明する機会を設けてきましたが、広く一般の方々に対して、市の水道を知っていただくための取組は不足していたのではないかと感じております。

(先ほど、市長からの答弁にもありましたように)

市では水の安全性の確保のために、水質検査をしっかりと行うとともに、これまで三郷地域において水道管の洗浄を行ったり、豊科の配水場において水の濁りを除去するための「ろ過装置」の設置などを進めてきました。今後もこれらの取組を他の地域へと広げていくなど、水源から皆さんの家庭の蛇口に至るまでの水質管理を、より一層強化していき

いと考えております。

これら市の取組を含め、安曇野の水の安全性を市民の皆様に発信すべく、今後、一般の方も対象とした施設見学会の開催を検討していくほか、毎年開催している「安曇野環境フェア」など様々なイベントや機会をとらえて、水質検査の状況を分かりやすい形で示したり、市内5地域の水の飲み比べを実施するなど、安曇野の水の魅力（おいしさ、安全性）をPRしてまいりたいと思います。